

# W.M.Vories Bibliography

Yasuyuki Nakamori  
Manabu Okada

## Abstract

W. M. Vories (Hitotsuyanagi, Merrell) released numerous books, essays, and poems. However, a list of periodicals in which they are published does not exist. Therefore, we created a list of those that are currently known, including his books. This paper contains a bibliography of W. M. Vories (October 28, 1880 - May 7, 1964), created by Yasuyuki Nakamori and Manabu Okada.

This bibliography consists of the following:

- 1) books
- 2) essays published in the magazine *Kohan-no-Koe*\*
- 3) poems published in *Kohan-no-Koe* after 1960
- 4) essays published in other periodicals

\* *The Voice of the Lakeside*, launched in July 1912, is a monthly magazine published by the company Omikyodaisha (Omi Brotherhood).

# W・M・ヴォーリズ（一柳米来留）著作目録

中 森 康 之  
岡 田 学

W・M・ヴォーリズ（一柳米来留）は、著書、論文、英詩、エッセイなど数多くの著作を残している。しかし現在、特に雑誌などの場合、ヴォーリズの文章が何年何月号に掲載されているかは、その雑誌をひとつずつ確認してゆかなければならない状況であり、またその多くは、入手や閲覧が困難で、その全体像も明らかではない。そこで現時点で判明している著作目録を作成した。

本目録は、今後のヴォーリズ研究に資することを目的として作成したが、未調査のものも多く、全ての著作を網羅するには至っていない。今後、多くの方々から本目録に追加すべき情報が多く寄せられることを切に願っている。

## 凡 例

- 1 本目録は、W・M・ヴォーリズ（一柳米来留）（1880年10月28日 - 1964年5月7日）の著作目録である。
- 2 本目録は下記からなる。
  - 一 著書
  - 二 「湖畔の声」に掲載された文章
  - 三 昭和35年以降の「湖畔の声」に掲載された英詩
  - 四 「湖畔の声」意外に掲載された文章
- 3 「湖畔の声」は、明治45年7月に創刊され現在も続く近江兄弟社・湖声社の月刊誌である。なお、本目録では、昭和42年12月までを確認した。

4 掲載に関して下記の通りとした。

- (1) 各分類ごとにおおむね発行年月順に配列した。
- (2) 毎号連載など、まとめられるものはまとめ、掲載間隔の空いた連載は、なるべく発行年月日が特定できるようにした。ただし未特定のは期間を示した。
- (3) ヴォーリズの個人的な手記など、印刷物となっていないものは掲載対象とはしない。
- (4) 旧字は新字に改めた。
- (5) 書誌情報は、原則として各出版物の奥付に寄った。ただし現物未見のものは出典の各書誌に拠った。
- (6) 『吾家の設計』など、版により大幅な内容の相違があるものも少なくないので、可能な限り各版の発行年月日を示した。
- (7) 「湖畔の声」に掲載された文章」に掲載されている「マンスリー・レター」は、おおよその内容が分かるように（ ）内に岡田が小見出しを付した。
- (8) 本目録では著者名は省略したが、「W・M・ヴォーリズ」の表記は、昭和16年の帰化までは、「ウィリアム・メレル・ヴォーリズ」、帰化後は「一柳米来留」が一般的である。ただし掲載誌により異同がある。例えば、「W.M.V」、「ウキリアム・メル・ヴォーリス」、「ウィリアム、メル、ヴォーリス」、「ウィリアム、メル、ヴォーリス」、「W.M.Vories」、「Wm. Merrell Vories」、「Vories, William Merrell」、「メレル・ヴォーリズ」、「ヴォーリズ」、「メレル・ヴォーリズ・一柳」、「Merrell Vories hitosuyanagi」、「ヴォーリス、ウキリアム・メル」などがある。

※本目録作成に際し、多くの方々、諸機関に大変お世話になりました。厚く御礼申し上げます。

【 一 著書】

	タイトル	編・訳等	出版社	発行年月	備考
1	COLLEGE MEMORIES AND OTHER RIMES, MUCH OF WHICH HAZ APPEARED BEFORE IN THE COLORADO COLLEGE TIGER		THE COLORADO COLLEGE	明治 36 年	
2	A MUSTARD-SEED IN JAPAN (EMBODYING THE JAPANESE EXPERIENCES OF AN AMERICAN TEACHER)		THE OMI MISSION	明治 44 年 (初版) 昭和 23 年 (14 版)	THE OMI MUSTARD-SEED 再版～13 版未詳
3	THE EVANGELIZATION OF RURAL JAPAN		THE OMI MISSION	大正 4 年 8 月	
4	INTO WEST OMI		不明	不明	
5	A MUSTARD-SEED IN JAPAN		THE OMI MISSION	大正 11 年 7 月初版 大正 14 年 6 月五版	
6	吾家の設計		文化生活研究会	大正 12 年 6 月 8 日初版 大正 12 年 6 月 17 日再版 大正 12 年 12 月 25 日初版 大正 13 年 3 月 25 日再版 大正 13 年 4 月 5 日三版	
7	吾家の設計		近江ミッション 図書販売部	大正 13 年 7 月 1 日初版 昭和 2 年 5 月 5 日 4 版 昭和 5 年 11 月 5 版	
8	吾家の設備		文化生活研究会	大正 13 年 7 月 1 日初版 大正 13 年 9 月 1 日再版 大正 13 年 9 月 10 日 3 版	
9	吾家の設備		近江ミッション 図書販売部	昭和 5 年	
10	一粒の信仰	吉田悦蔵訳	春秋社	昭和 5 年	
11	“Let no man despise thy youth.” : A baccalaureate sermon delivered at Colorado College on June 8, 1930(Studies series).		不明	昭和 6 年	

12	GORO TAKAGI - MUSICIAN		OMI MISSION BOOK DEPARTMENT (初版～4版) THE OMI BROTHERHOOD BOOK DEPARTMENT (5版)	昭和8年7月15日初版 昭和8年8月15日再版 昭和8年9月15日3版 昭和8年12月20日4版 昭和9年3月15日5版	
13	若き音楽家の一生： 高木五郎伝	高橋虔訳	近江ミッション 図書出版部	昭和8年12月	
14	THE OMI BROTHERHOOD IN NIPPON		近江兄弟社図書 出版部	昭和9年7月初版 昭和10年7月再版 昭和11年8月三版 昭和15年6月五版	4版未詳
15	ヴォーリーズ建築事務所作品集 W・M・VORIES & COMPANY ARCHITECTS: Their work in Japan 1908-1936	ヴォーリーズ 建築事務所 [作]; 中村勝哉編	城南書院	昭和12年7月	執筆：序文
16	キリストの特性	通信伝道叢書 第三輯	近江兄弟社 基督教通信学会	昭和21年11月	
17	天皇の印象	安倍能成編	創元社	昭和24年1月	執筆：陛下への 信頼
18	協力へ人間育成	M.J. エヴァンズ著	近江兄弟社・ 湖声社	昭和28年3月	執筆：序
19	A MUSTARD-SEED IN JAPAN 日本の地に落ち た一粒のからし種)	清水安三訳	北星堂書店	昭和34年4月	
20	失敗者の自叙伝		近江兄弟社・ 湖声社	昭和45年9月	
21	POEMS OF THE EAST AND WEST	EDITED BY FEDERICA MEAD HILTNER	THE OMI BROTHERHOOD	昭和35年	
22	アメリカ人教師の日本体 験記	一粒社 ヴォーリーズ 建築事務所 創業100周年 記念事業委 員会	一粒社ヴォーリーズ 建築事務所	平成20年11月	“THE OMI MUSTARD-SEED” の再掲
23	伝道と建築	一粒社 ヴォーリーズ 建築事務所 創業100周年 記念事業 委員会	一粒社ヴォーリーズ 建築事務所	平成20年11月	“THE OMI MUSTARD-SEED” の再掲

24	吾家の設計 / 吾家の設備 (住宅建築文献集成 第 12巻)	内田青蔵編 柏書房	平成 22 年 7 月	復刻
25	東と西の詩集 : 日本語訳 注付	奥村直彦・近江兄弟社・ 三崎リン 湖声社 (共訳)	平成 22 年 10 月	“POEMS OF THE EAST AND WEST” の復刻と 日本語訳
26	神の国の種を蒔こう	新教出版社	平成 26 年 5 月	「湖畔の声」の再 掲ほか
27	吾家の生活	岡田学編 遵義堂	平成 27 年 11 月	「湖畔の声」の再 掲ほか

## 【 二 「湖畔の声」に掲載された文章】

	タイトル	発行年月
1	発行の辞	明治 45 年 7 月
2	マンスリー・レター (勇気をもって自分の主義を貫くこと)	明治 45 年 7 月
3	マンスリー・レター (同胞主義・世界の一致団結)	大正元年 8 月
4	マンスリー・レター (肺病の蔓延防止)	大正元年 9 月
5	マンスリー・レター (聖書の研究)	大正元年 10 月
6	マンスリー・レター (生涯の目的の遂行、時に関する使命)	大正元年 11 月
7	マンスリー・レター (クリスマスメッセージ・利己的な人間とキリスト)	大正元年 12 月
8	マンスリー・レター (困難な時にも何か方法がある)	大正 2 年 1 月
9	マンスリー・レター (他人の生涯のための大いなる責任)	大正 2 年 2 月
10	マンスリー・レター (愛の精神を持つこと)	大正 2 年 3 月
11	マンスリー・レター (今回の渡米の使命)	大正 2 年 4 月
12	詩歌「安土山」	大正 2 年 4 月
13	マンスリー・レター (帰着のお知らせ、同胞主義の必要性)	大正 3 年 7 月
14	マンスリー・レター (夏期休暇の過ごし方について)	大正 3 年 8 月
15	マンスリー・レター (戦争の野蛮と無益)	大正 3 年 10 月
16	マンスリー・レター (品性に建設する宗教的活力)	大正 3 年 11 月
17	マンスリー・レター (品性の建築)	大正 3 年 12 月
18	マンスリー・レター (人生は書物を著作する如し)	大正 4 年 1 月
19	マンスリー・レター (最善なる人)	大正 4 年 2 月
20	マンスリー・レター (神の国とキリスト教の同胞主義)	大正 4 年 3 月
21	マンスリー・レター (精神的な生活)	大正 4 年 4 月
22	マンスリー・レター (宗教の真の価値)	大正 4 年 5 月
23	マンスリー・レター (魂の洗濯)	大正 4 年 6 月
24	マンスリー・レター (人格の土台)	大正 4 年 7 月
25	マンスリー・レター (煙草の害)	大正 4 年 8 月
26	マンスリー・レター (肺結核の予防について)	大正 4 年 9 月
27	マンスリー・レター (血液と病原菌の戦い)	大正 4 年 10 月
28	マンスリー・レター (品性の戦闘)	大正 4 年 11 月

29	マンスリー・レター（真の愛国心）	大正 4 年 12 月
30	マンスリー・レター（有益と徳の方面が発達するように）	大正 5 年 1 月
31	マンスリー・レター（祈りと奉仕の生涯）	大正 5 年 2 月
32	マンスリー・レター（成功の生涯を送るには 節制・信仰・夢）	大正 5 年 3 月
33	マンスリー・レター（人生と思想の正しい主義が真理を生む）	大正 5 年 4 月
34	マンスリー・レター（キリストの信仰とともに生きること）	大正 5 年 5 月
35	マンスリー・レター（米国気分が味わえる近江ミッション住宅）	大正 5 年 6 月
36	マンスリー・レター（宗教の革命的力）	大正 5 年 7 月
37	マンスリー・レター（神の霊的力に接すること）	大正 5 年 9 月
38	マンスリー・レター（秋は実行の季節）	大正 5 年 10 月
39	マンスリー・レター（クリスマスメッセージ・真実を見ること）	大正 5 年 12 月
40	マンスリー・レター（楽観主義のすすめ・聖霊の世界との交通）	大正 6 年 1 月
41	マンスリー・レター（クリスマスメッセージ・物質主義の戒め）	大正 6 年 12 月
42	マンスリー・レター（神の道具）	大正 7 年 4 月
43	悔やみの手紙	大正 7 年 4 月
44	職業の選択	大正 7 年 9 月
45	A PRAYER 英詩	大正 7 年 12 月
46	A PRAYER 1919 英詩	大正 8 年 3 月
47	人生の意義	大正 11 年 12 月
48	JORDAN KWAI SONG（ヨルダン会の歌）	大正 12 年 3 月
49	天井は低いがい	大正 12 年 3 月
50	現代日本に於ける基督教教会堂建築に就いて	大正 13 年 9 月
51	故ジョンヴォーリズ履歴	大正 14 年 1 月
52	太平洋の彼方より 1・2	大正 14 年 8 月、10 月
53	巻頭言	大正 15 年 7 月
54	ある友への手紙	昭和 2 年 1 月
55	吾家の生活	1～10（昭和 2 年 4 月～昭和 3 年 月）、11（3 月）、12・13（5 月～6 月）、14～18（10 月～昭和 4 年 2 月）、19・20（4 月～5 月）、21～25（昭和 5 年 2 月～6 月）、26～30（9 月～昭和 6 年 1 月）（終）
56	真の科学世界	昭和 2 年 6 月
57	“SOMETHING FOR NOTHING” 無代にて何物を得んとするか 1～5	昭和 3 年 5 月～9 月
58	鮮満北支那旅行記 1～3	昭和 3 年 12 月～昭和 4 年 2 月
59	日本国に落ちし芥種の一粒 1～10	昭和 4 年 3 月～昭和 5 年 2 月
60	近江の人々に告ぐ 1・2	昭和 4 年 6 月～7 月
61	マンスリー・レター（大正二年八月号の再掲）	昭和 4 年 10 月
62	思い出の数々	昭和 4 年 10 月
63	二十五周年に際して	昭和 5 年 2 月
64	アメリカ・カナダ旅行に際して	昭和 5 年 4 月

65	アメリカよりの第一信	昭和5年5月
66	帰朝の挨拶 近況録から	昭和5年8月
67	ヴォーリズ博士の説教概要 水口基督教会館献堂式	昭和5年12月
68	建築的不満	昭和6年2月
69	HEIWA (作詩・作曲)	昭和6年6月
70	教育の理想	昭和6年10月
71	子供中心の家	昭和6年11月
72	基督教会と其経済	昭和6年12月
73	暮れゆく日の平和	昭和7年2月
74	近江ミッションの産業的体験1・2	昭和7年3月～4月
75	経済生活における神の国の発見1・2	昭和7年5月～6月
76	世界飛脚印象記1～3	昭和7年7月～9月
77	新聞売子時代の回顧	昭和8年1月
78	祈りつゝ前進	昭和8年2月
79	近江ミッションの実験しつつある七つのプリンシプル1・2	昭和8年4月～5月
80	故ハイド老婦人を偲ぶ	昭和8年5月
81	純潔なる生活	昭和8年6月
82	教會に行く犬	昭和8年7月
83	神の国に入るもの	昭和8年8月
84	懐しきサンフランシスコのピークよー表紙写真の説明一	昭和8年9月
85	第一の故郷への旅一平和への波がしら	昭和9年1月
86	近江ミッションの最後	昭和9年2月
87	鎖とケーブル	昭和9年3月
88	近江兄弟社の理想	昭和9年3月
89	健康・明朗・幸福	昭和9年6月
90	実業生活に於ける兄弟主義	昭和9年9月
91	牛津(オックスフォード)運動の四絶対観	昭和9年11月
92	八幡町の皆様へ	昭和10年2月
93	私はキリスト教をこう考える	昭和10年3月
94	兄弟生活に於ける雇人問題	昭和10年4月
95	メンソレータム・アメリカ本社前社長 故エ・エ・ハイド氏の追憶	昭和10年6月
96	八幡基督教青年会館献堂式の日	昭和10年7月
97	神の番頭	昭和10年8月
98	平信徒伝道	昭和10年9月
99	謙遜のまなび	昭和10年10月
100	心の貴族	昭和10年11月
101	初めて近江八幡の土を踏んで	昭和11年2月
102	献身の意味	昭和11年3月
103	人間平等論	昭和11年4月
104	ラヂオ講演 日本の建築	昭和11年7月
105	兄弟愛の理想	昭和11年8月

106	日本に於ける 32 年 平和記念国際放送 JOAK より	昭和 12 年 1 月
107	信働愛	昭和 12 年 2 月
108	三十三年の昔を語る日記抄	昭和 12 年 3 月
109	教会建築	昭和 12 年 3 月
110	えだ豆のおしえ	昭和 12 年 4 月
111	小事をも侮らず	昭和 12 年 5 月
112	主の祈 1・2	昭和 12 年 8 月、10 月
113	結婚について 1・2 若き青年男女のために	昭和 13 年 10 月～11 月
114	建築随録 1・2	昭和 14 年 1 月、4 月
115	詩「人生」	昭和 14 年 2 月
116	不滅の燈火（小説）	1（昭和 14 年 4 月）、2・3（6 月）、 4（7 月）、5（8 月）、6（10 月）、 7（11 月）、8（昭和 15 年 2 月）、 9（4 月）、10（5 月）（終）
117	日本建築の世界進出	昭和 14 年 8 月
118	アメリカの話「人格を腕に活かす新教育」	昭和 14 年 9 月
119	詩「松に告ぐ」	昭和 15 年 1 月
120	入信実話「大学者の回心」	昭和 15 年 9 月
121	青少年に告ぐ「二つの危機」	昭和 15 年 10 月
122	聖誕節に	昭和 15 年 12 月
123	金銀は我になし	昭和 16 年 2 月
124	神に仕え奉らんとせば	昭和 16 年 3 月
125	趣味	昭和 16 年 5 月
126	私が帰化するに際して	昭和 16 年 7 月
127	吉田悦藏追悼記	昭和 18 年 1 月
128	高橋牧師を弔す	昭和 18 年 2 月
129	高松宮殿下を近江兄弟社に迎え奉りて	昭和 18 年 3 月
130	紀元 2602 年 11 月 18 日	昭和 18 年 3 月
131	日本における民主主義 1～3	昭和 21 年 6 月～ 昭和 21 年 8・9 月合併号
132	奉仕か利己主義か	昭和 21 年 7 月
133	基督者の生活	昭和 21 年 10 月
134	健康生活	昭和 21 年 11 月
135	基督教入門の道	昭和 21 年 12 月
136	昭和 22 年（1947 年）を迎う	昭和 22 年 1 月
137	善き隣人の会	昭和 22 年 2 月
138	愛敵の精神	昭和 22 年 6 月
139	拝謁の栄を賜りて	昭和 22 年 7 月
140	基督教会の必要とするもの「預言者出でよ」	昭和 22 年 11 月
141	農村伝道の急務	昭和 22 年 12 月
142	新年の志	昭和 23 年 1 月

143	スチュワードシップに就いて	昭和23年1月
144	放蕩息子とその兄弟	昭和23年2月
145	我等の標準生活	昭和23年3月
146	アメリカ通信	昭和23年10月
147	在米の一柳先生よりのメッセージ	昭和24年2月
148	初めて近江八幡の土を踏んで 45年前の2月2日	昭和24年2月
149	神の道具	昭和24年3月
150	二輪の朝顔	昭和24年6月
151	詩「祈り」	昭和24年7月
152	キリスト教と日常生活	昭和24年7月
153	音楽と人生	昭和24年8月
154	讃美歌221番を歌詞、作曲せし頃の思い出	昭和24年9月
155	平信徒伝道	昭和24年10月
156	青年教育	昭和24年11月
157	近江兄弟社学園校舎増築上棟感謝式	昭和24年11月
158	クリスマスメッセージ 伝道への時機	昭和24年12月
159	新年の辞 助け合って前進	昭和25年1月
160	メッセージ 平信徒の使命	昭和25年2月
161	詩「みちびきの祈り」 A PRAYER FOR GUIDANCE 1948.9.16	昭和25年3月
162	アメリカより帰って	昭和25年4月
163	母	昭和25年5月
164	人格の建設について -若き学生に与う-	昭和25年6月
165	バッハ200年祭にあたりて	昭和25年7月
166	朝の祈り	昭和25年8月
167	病気の意味	昭和25年9月
168	私の夢	昭和25年10月
169	文化住宅の理想	昭和25年10月
170	クリスマスの意味	昭和25年12月
171	十分間の証	昭和26年1月
172	近江の国について	昭和26年2月
173	失敗者の自叙伝1～61	昭和26年2月～昭和32年11月
174	近江兄弟社の中心主義	昭和29年9月
175	結婚について (昭和13年10、11月の再掲)	昭和29年10月
176	讃美歌物語221番に就て	昭和29年10月
177	主の祈について	昭和29年11月
178	日本での私の最初のクリスマス	昭和29年12月
179	信仰の灯 -アメリカ旅行に拾う-	昭和30年3月
180	エホバを待ち望む者は新なる力を得ん	昭和30年4月
181	内村鑑三先生と私 30年昔の回想	昭和30年5月
182	モット博士の思い出	昭和30年6月
183	来日当初の日本の姿	昭和30年7月

184	聖霊の果実	昭和30年8月
185	放蕩息子とその兄（昭和23年2月の再掲）	昭和30年9月
186	近江の信仰の英雄 大原義雄氏を偲んで	昭和30年10月
187	何をするにも先ず祈れ	昭和31年2月
188	私の信念	昭和31年9月
189	村田幸一郎さんを憶う	昭和32年2月
190	500号	昭和32年3月
191	信仰実話 最も劇的な事件	昭和32年9月
192	善きサマリヤ人後日物語	昭和33年1月
193	真の伝道とは一体何か	昭和33年2月
194	私の生涯とは何か	昭和33年3月
195	祈りのうちに考えましょう	昭和33年4月
196	私のきらいもの	昭和33年5月
197	健康生活7則 上・中・下	昭和33年6月～8月
198	失意も恵み	昭和33年9月
199	恩寵50年	昭和33年10月
200	クリスチャンホームとは何か	昭和33年11月
201	我らが救すごとく我らを救し給え	昭和33年12月
202	忘れられぬ印象の人 - A・A・ハイド翁を想う - 1～4	昭和34年1月～4月
203	神への紹介 - 伝道とは何か -	昭和34年5月
204	クリスチャンの責任	昭和34年6月
205	主を待ち望む者	昭和34年7月
206	クリスチャンの特質	昭和34年8月
207	奉仕の喜び - ガラリヤ丸伝道旅行記 -	昭和34年9月
208	「主の祈」の反省	昭和34年10月
209	どうしたらクリスチャンになれるか	昭和34年11月
210	クリスマスの真意義	昭和34年12月
211	今日は昨日にまさる	昭和35年1月
212	私の祈り	昭和35年2月
213	神の道具 - 近江兄弟社の根本主義 -	昭和35年3月
214	聖霊の導き	昭和35年4月
215	讚美歌「地の上にまことの」由来	昭和35年5月
216	信仰・希望・愛 わが祈り 祈りの目的	昭和35年6月
217	基督者の生活	昭和35年7月
218	キリスト教とは	昭和38年2月
219	何故、自分は日本人になったか	昭和38年7月
220	一粒の信仰 1～6	昭和39年8月～昭和40年1月
221	わたしの祈り	昭和41年8月
222	新年の歌	昭和43年1月
223	失敗者とは（失敗者の自叙伝の再掲）	昭和43年1月
224	我が自由意志	昭和43年2月

225	近江兄弟社の歌	昭和43年3月
226	随想二篇 趣味・教会に行く犬(再掲)	昭和43年4月
227	それはキリストご自身であった	昭和43年5月
228	基督者の生活(昭和21年5月の再掲)	昭和43年6月
229	愛のみ	昭和43年8月
230	私の信念(昭和31年9月の再掲)	昭和43年11月
231	与える人・求める人	昭和44年6月
232	主の祈	昭和44年7月
233	若き音楽家 高木五郎(同名の書籍の再掲)	昭和44年8月～昭和45年10月
234	反対派の教師たちと(「失敗者の自叙伝」の再掲)	昭和45年11月
235	病院での相客(「失敗者の自叙伝」の再掲)	昭和45年12月
236	私の信念(昭和31年9月の再掲)	昭和47年7月
237	海外旅行所感	昭和46年5月
238	農村伝道について1・2	1(昭和47年2月)、2(4月)
239	日本における教会建築の進展	昭和47年5月
240	キリスト教教育について	昭和47年6月
241	日本中西部の伝道状況(大正12年度)	昭和49年5月

### 【三 「湖畔の声」に昭和35年以降に掲載された英詩】

	タイトル	英語タイトル	創作年月日	発行年月
1	新年の祈り		不明	昭和11年1月
	※昭和35年以降ではないが便宜上ここに配した。			
2	芥子種		不明	昭和35年8月
3	序詩 素人詩人		不明	昭和35年9月
4	朝の祈	MORNING PRAYER	昭和14年6月6日	昭和35年10月
5	奇しき光	HYMN	大正14年	昭和35年11月
6	クリスマス	CHRISTMAS	昭和8年1月9日	昭和35年12月
7	新年の歌	NEW YEAR HYMN	昭和17年1月1日	昭和36年1月
8	朝の歌	MORNING HYMN	昭和15年11月6日	昭和36年2月
9	生命の燈	HYMN	昭和15年7月10日	昭和36年3月
10	献身者の心	A HYMN FOR VOLUNTEERS	大正12年	昭和36年4月
11	近江兄弟社の歌	OMI BROTHERHOOD HYMN	不明	昭和36年5月
12	復活	RESURRECTION	不明	昭和36年6月
13	愛のみは長久に絶ゆる ことなし	TIS LOVE ALONE THAT NEVER FAILETH	昭和14年7月29日	昭和36年7月
14	教会	THE CHURCH	昭和13年6月26、27、28日	昭和36年8月
15	なれが手足とならし めよ	LET ME BE HANDS AND FEET FOR THEE	昭和16年12月2日	昭和36年9月
16	聖餐	HOLY COMMUNION	不明	昭和36年10月
17	苦しみの庭	THE GARDEN OF PAIN	不明	昭和36年11月

18	最初のクリスマスツリー	THE FIRST CHRISTMAS	不明	昭和36年12月
19	にくまず	LET ME NOT HATE	不明	昭和37年1月
20	み衣の裾	TOUCHING THY MANTLE'S HEM	昭和15年5月1日	昭和37年2月
21	イエス	JESUS	昭和16年8月14日	昭和37年3月
22	否定	DENIAL	昭和15年5月10日	昭和37年4月
23	神の宮	THE TEMPLE OF GOD	不明	昭和37年5月
24	宣教師	THE MISSIONARY	不明	昭和37年6月
25	必勝	SURE VICTORY	昭和15年3月16日	昭和37年7月
26	感謝	THANKSGIVING	昭和21年7月26日	昭和37年8月
27	今	NOW	昭和8年2月9日	昭和37年9月
28	受難日	GOOD FRIDAY	昭和30年10月2日	昭和37年10月
29	いかで兄弟審くべき	HOW CAN JUDGE BROTHER?	昭和15年3月23日	昭和37年11月
30	クリスマス	"X" - MAS	昭和22年12月7日	昭和37年12月
31	素人詩人（昭和35年 9月の再掲）		不明	昭和38年1月
32	同情	SYMPATHY	明治42年	昭和38年2月
33	サナトリウムの歌	SONG FOR SANATORIUM	昭和14年7月10日	昭和38年3月
34	苦難を通して完成す	PERFECTED THROUGH SUFFERING	大正8年2月6日	昭和38年4月
35	意志の自由	THE FREEDOM OF MY WILL	昭和14年6月24日	昭和38年5月
36	わが心は歌う	MY HEART GOES SINGING	昭和15年5月16日	昭和38年6月
37	天国	HEAVEN	明治42年	昭和38年7月
38	比較	COMPARISON	昭和15年9月6日	昭和38年8月
39	選択	ONE CHOICE	昭和15年5月4日	昭和38年9月
40	献堂式 教会堂、学校、 YMCAなどの	DEDICATION HYMN FOR BUILDINGS (CHURCHES,SCHOOLS,YMCAS,ETC.)	昭和6年	昭和38年10月
41	発見	DISCOVERY	昭和15年3月18日	昭和38年11月
42	今日われに何をなさ しめ給うかや	WHAT WOULDST THOU HAVE ME DO TODAY?	昭和14年9月12日	昭和38年12月
43	祈り	A PRAYER	大正8年	昭和39年1月
44	橄欖山上の日没	SUNSET ON THE MOUNT OF OLIVES	昭和9年4月17日	昭和39年2月
45	春	SPRING	不明	昭和39年3月
46	何故	HOW AND WHY	昭和20年2月8日	昭和39年4月
47	悲しむ親	O SIRENS WHO MOVRN	昭和17年6月29日	昭和39年5月
48	ナザレ	NAZARETH	昭和9年12月5日	昭和39年6月
49	祈	PRAYER	不明	昭和39年7月
50	微笑か洪面か	SMILE OR FROWN	昭和20年2月8日	昭和39年8月
51	メッセージ	OUR MESSAGE	昭和28年11月5日	昭和39年9月
52	意志と道	WIIS AND WAYS	昭和15年11月15日	昭和39年10月

53	勝利の歌	VICTORY HYMN	昭和 20 年 7 月 28 日	昭和 39 年 11 月
54	主を待ち望め	WAIT PATIENTLY FOR HIM	昭和 22 年 9 月 13 日	昭和 39 年 12 月
55	今日	TODAY	昭和 16 年 10 月 19 日	昭和 40 年 1 月
56	讃美歌	HYMN	昭和 18 年 12 月 19 日	昭和 40 年 2 月
57	魚屋町の家 - 創の家 -	THE HOUSE IN UOYACHO	昭和 8 年 5 月 20 日	昭和 40 年 3 月
58	復活節讃美歌	EASTER HYMN	昭和 17 年 4 月 5 日	昭和 40 年 4 月
59	主よ聴く心与えませ	PRAYER FOR A HEARING HEART	昭和 18 年 11 月 7 日	昭和 40 年 5 月
60	謁見	ON MEETING THE EMPEROR	昭和 22 年 6 月 16 日	昭和 40 年 6 月
61	今日	TODAY	昭和 21 年 11 月 16 日	昭和 40 年 7 月
62	ポール・ウォータハウス にささぐ	TO PAUL WATERHOUSE	明治 42 年	昭和 40 年 8 月
63	愛はすべてを征服す	LOVE CONQUERS ALL	昭和 20 年	昭和 40 年 9 月
64	讃美歌	HYMN	昭和 14 年 8 月 6 日	昭和 40 年 10 月
65	高松宮殿下を迎え まつりて	-	昭和 17 年 11 月 18 日	昭和 40 年 11 月
66	ペテロのテスト	PETER'S TEST	昭和 30 年 10 月 4 日	昭和 40 年 12 月
67	我が子よ	MY BOY	昭和 16 年 12 月 14 日	昭和 41 年 1 月
68	キリストに在りて一つ	ONE IN CHRIST	昭和 28 年 7 月 26 日	昭和 41 年 2 月
69	讃美歌	A HYMN	昭和 21 年 6 月 19 日	昭和 41 年 3 月
70	今日のための祈	HELP FOR TODAY!	不明	昭和 41 年 4 月
71	信、望、愛	HYMN (TUNE: "MANOAH")	昭和 21 年 4 月 1 日	昭和 41 年 5 月
72	自己統制	SELF - MASTERY	昭和 24 年 8 月 5 日	昭和 41 年 6 月
73	献堂歌	DEDICATION HYMN	1931 年	昭和 41 年 7 月
74	アメリカに訴える	APPEAL TO AMERICA	昭和 19 年 12 月 17 日	昭和 41 年 8 月
75	祈り	HEAVEN APPEALING PRAYER	昭和 13 年 5 月 25 日	昭和 41 年 9 月
76	讃美歌	A HYMN (TUNE: "MANOAH," C.M.)	明治 38 年 5 月	昭和 41 年 10 月
77	主の祈	The "LORD'S PRAYER" rayer"	昭和 27 年 11 月 4 日	昭和 41 年 11 月
78	平和のための祈	A PRAYER FOR PEACE	不明	昭和 41 年 12 月
79	主の祈り (昭和 41 年 11 月の再掲)	THE "LORD'S PRAYER"	昭和 27 年 11 月 4 日	昭和 42 年 1 月
80	宗教とは何か	WHAT IS RELIGION?	不明	昭和 42 年 2 月
81	花の音づれ	THE MESSAGE OF THE FLOWERS	昭和 18 年 6 月 9 - 10 日	昭和 42 年 3 月
82	聖餐	HOLY COMMUNION	昭和 7 年 5 月 1 日	昭和 42 年 5 月
83	今日	TODAY	昭和 16 年 10 月 19 日	昭和 42 年 6 月
84	仕方一つで	WHAT MATTERS	昭和 16 年 11 月 13 日	昭和 42 年 7 月
85	神は何処に	WHERE IS GOD?	昭和 17 年 3 月 21 日	昭和 42 年 8 月
86	いなみ	DENIAL	昭和 15 年 5 月 10 日	昭和 42 年 9 月
87	懺悔	PENITENCE	昭和 15 年 5 月 14 日	昭和 42 年 10 月

88	感謝（昭和 37 年 8 月の再掲）	THANKSGIVING		昭和 21 年 7 月 26 日	昭和 42 年 11 月
89	最初のクリスマス	THE FIRST CHRISTMAS		昭和 16 年 12 月 18 日	昭和 42 年 12 月

## 【 四 「湖畔の声」以外に掲載された文章】

	タイトル	書誌情報（所収等）	出版社	発行年月	備考
1	THE EXPERIENCES OF AN AMERICAN TEACHER	THE OMI MUSTARD-SEED	THE OMI MISSION	明治 40 年 11 月 - 明治 42 年 6 月	『アメリカ人教師の日本体験記』に再掲
2	DOES ARCHITECTURE INTERFERE WITH MISSION WORK?	THE OMI MUSTARD-SEED	THE OMI MISSION	大正 5 年 11 月	『伝道と建築』に再掲
3	AN ARCHITECTURAL TRIUMPH	THE OMI MUSTARD-SEED	THE OMI MISSION	大正 7 年 12 月	『伝道と建築』に再掲
4	INTER NATIONALISM IN THEORY AND AT WORK	THE OMI MUSTARD-SEED	THE OMI MISSION	大正 9 年 11 月	『伝道と建築』に再掲
5	WHAT IS MISSION SUCCESS?	THE OMI MUSTARD-SEED	THE OMI MISSION	大正 9 年 11 月	『伝道と建築』に再掲
6	INDIRECT EVANGERIZATION	THE OMI MUSTARD-SEED	THE OMI MISSION	大正 9 年 12 月	『伝道と建築』に再掲
7	OUR ARCHITECTURAL DEPARTMENT	THE OMI MUSTARD-SEED	THE OMI MISSION	大正 10 年 6 月	『伝道と建築』に再掲
8	MONTHLY MISSION MEETING	THE OMI MUSTARD-SEED	THE OMI MISSION	大正 10 年 6 月	『伝道と建築』に再掲
9	ARCHITECTURE AND MISSION WORK	THE OMI MUSTARD-SEED	THE OMI MISSION	大正 11 年 6 月	『伝道と建築』に再掲
10	CHRISTIANITY-THE KINGDOM OF GOD	THE OMI MUSTARD-SEED	THE OMI MISSION	大正 12 年 3 月	『伝道と建築』に再掲
11	吉田悦蔵宛書簡（1926 年 11 月）	吉田悦蔵『近江の兄弟等』	近江ミッション 図書販売部	大正 12 年 5 月 1 日	
12	ARCHITECTURE AND A NEW ORDER	THE OMI MUSTARD-SEED	THE OMI MISSION	大正 12 年 6 月	『伝道と建築』に再掲
13	日本住宅の革命	文化生活	文化普及会	大正 12 年 6 月	大正 11 年 4 月 25 日に執筆のもの
14	真の文化生活	文化生活の基礎	文化生活研究会	大正 12 年 8 月	
15	日常生活の研究（読者の質疑に答ふ）	文化生活の基礎	文化生活研究会	大正 12 年 8 月	
16	耐震耐火建築と人格	文化生活の基礎	文化生活研究会	大正 13 年 1 月	
17	簡単な別荘の設計とその生活法	主婦の友	主婦の友社	大正 13 年 8 月	
18	国際生活の善意	文化生活	文化普及会	大正 13 年 9 月	

19	THE ARCHITECTURAL DEPARTMENT OF OMI MISSION	THE OMI MUSTARD-SEED	THE OMI MISSION	昭和 2 年 6 月	『伝道と建築』に再掲
20	次の時代を支配する夫人	経済生活 8 卷 (122 号)	文化普及会	昭和 5 年 2 月	
21	THE MISSIONARY MOTIVE	THE OMI MUSTARD-SEED	THE OMI MISSION	昭和 6 年 8 - 12 月月	『伝道と建築』に再掲
22	RE-THINKING RE“RE-THINKING MISSIONS”	THE OMI MUSTARD-SEED	THE OMI MISSION	昭和 8 年 2 - 3 月	『伝道と建築』に再掲
23	RETHINKING MISSIONS AGAIN	THE OMI MUSTARD-SEED	THE OMI MISSION	不明	『伝道と建築』に再掲
24	神戸女学院新校舎建築の要素 - 設計者の言葉 -	めぐみ 第 22 号	めぐみ会	昭和 8 年 7 月	
25	THE END OF“THE OMI MISSION”	THE OMI MUSTARD-SEED	THE OMI MISSION	昭和 8 年 12 月 - 昭和 9 年 1 月	『伝道と建築』に再掲
26	A SEVENTY-THREE DAYS' JOURNEY	THE OMI MUSTARD-SEED	THE OMI BROTHEHOOD	昭和 8 年 12 - 昭和 9 年 1 月	昭和 8 年 9 月 18 日 ~ 11 月 30 日の米国旅行記
27	TRIUMPHANT IN DEATH	THE OMI MUSTARD-SEED	THE OMI BROTHEHOOD	昭和 8 年 12 - 昭和 9 年 1 月	
28	CABLE AND CHAIN	THE OMI MUSTARD-SEED	THE OMI BROTHEHOOD	昭和 8 年 12 - 昭和 9 年 1 月	
29	MISSIONARY MOTTOES	THE OMI MUSTARD-SEED	THE OMI BROTHEHOOD	昭和 8 年 12 - 昭和 9 年 1 月	
30	設計者の言葉	大阪朝日新聞 1934.2.2	大阪朝日新聞社	昭和 9 年 2 月	
31	不明		THE JAPAN ADVERTISER	昭和 9 年 2 月 11 日	
32	ARE MORE MISSIONARIES NEEDED?	THE OMI MUSTARD-SEED	THE OMI BROTHEHOOD	昭和 9 年 2 - 3 月	
33	ARE SERVANTS PEOPLE?	THE OMI MUSTARD-SEED	THE OMI BROTHEHOOD	昭和 9 年 2 - 3 月	
34	ANNUAL MEETING OF OMI-HACHIMAN CHURCH	THE OMI MUSTARD-SEED	THE OMI BROTHEHOOD	昭和 9 年 2 - 3 月	
35	NEWSPAPER EVANGELISM	THE OMI MUSTARD-SEED	THE OMI BROTHEHOOD	昭和 9 年 2 - 3 月	読者の誤解への訂正
36	BACK TO BARBARISM	THE OMI MUSTARD-SEED	THE OMI BROTHEHOOD	昭和 9 年 4 - 5 月	
37	TALK ABOUT GANGSTERS!	THE OMI MUSTARD-SEED	THE OMI BROTHEHOOD	昭和 9 年 4 - 5 月	
38	The Ideals of the Omi Brotherhood	THE OMI MUSTARD-SEED	THE OMI BROTHEHOOD	昭和 9 年 4 - 5 月	
39	THE DEATH OF MR.KOTA WATANABE	THE OMI MUSTARD-SEED	THE OMI BROTHEHOOD	昭和 9 年 6 - 7 月	

40	REAL RURAL EVANGELIZATION	THE OMI MUSTARD- SEED	THE OMI BROTHERHOOD	昭和 9 年 6 - 7 月	
41	HE, BEING DEAD, YET SPEAKETH	THE OMI MUSTARD- SEED	THE OMI BROTHERHOOD	昭和 9 年 6 - 7 月	
42	DEDICATION OF THE NEW PLANT OF KOBE COLLEGE	THE OMI MUSTARD- SEED	THE OMI BROTHERHOOD	昭和 9 年 6 - 7 月	
43	近江 ミッション 創立者 Wm.M.Vories 氏作の英詩	天界 14 卷 (160 号)	東亜天文学会	昭和 9 年 8 月	
44	THE TYPHOON OF SEPTEMBER 21	THE OMI MUSTARD- SEED	THE OMI BROTHERHOOD	昭和 9 年 10 - 11 月	
45	ANOTHER RURAL EVANGELIST	THE OMI MUSTARD- SEED	THE OMI BROTHERHOOD	昭和 9 年 10 - 11 月	
46	RECONSTRUCTION OF OUR HERBERT ANDREWS BUILDING	THE OMI MUSTARD- SEED	THE OMI BROTHERHOOD	昭和 9 年 12 月 - 昭和 10 年 1 年	
47	THE SERVANT PROBLEM( I )	THE OMI MUSTARD- SEED	THE OMI BROTHERHOOD	昭和 9 年 12 月 - 昭和 10 年 1 年	
48	THE LAST YEAR OF THIRTY	THE OMI MUSTARD- SEED	THE OMI BROTHERHOOD	昭和 10 年 2 - 3 月	
49	THE SERVANT PROBLEM, II	THE OMI MUSTARD- SEED	THE OMI BROTHERHOOD	昭和 10 年 2 - 3 月	
50	GLORIOUS REVENGE	THE OMI MUSTARD- SEED	THE OMI BROTHERHOOD	昭和 10 年 2 - 3 月	
51	EDUCATIONAL MILE STONES	THE OMI MUSTARD- SEED	THE OMI BROTHERHOOD	昭和 10 年 2 - 3 月	
52	THE PASSING OF A.A.HYDE	THE OMI MUSTARD- SEED	THE OMI BROTHERHOOD	昭和 10 年 2 - 3 月	
53	THE THIRTIETH ANNIVERSARY OF THE OMI BROTHERHOOD	THE OMI MUSTARD- SEED	THE OMI BROTHERHOOD	昭和 10 年 4 - 5 月	
54	THE SERVANT PROBLEM	THE OMI MUSTARD- SEED	THE OMI BROTHERHOOD	昭和 10 年 4 - 5 月	
55	TWO APPEALS	THE OMI MUSTARD- SEED	THE OMI BROTHERHOOD	昭和 10 年 4 - 5 月	
56	SOME MISSIONARIES LIVING IN JAPAN-TO THEIR FELLOW CHRISTIANS IN THE UNITED STATES	THE OMI MUSTARD- SEED	THE OMI BROTHERHOOD	昭和 10 年 4 - 5 月	
57	SPECIAL NOTICE	THE OMI MUSTARD- SEED	THE OMI BROTHERHOOD	昭和 10 年 4 - 5 月	
58	MODERN ARCHITECTURE	THE OMI MUSTARD- SEED	THE OMI BROTHERHOOD	昭和 10 年 10 月 - 11 月	『伝道と建築』に 再掲

59	J A P A N E S E ARCHITECTURE	THE OMI MUSTARD- SEED	THE OMI BROTHERHOOD	昭和 11 年 6 月	『伝道と建築』に 再掲
60	不明	文化生活論集 卷 1	文化普及会	不明	
61	科学的食堂の経営	文化生活論集 卷 2	文化普及会	不明	
62	逆流するキリスト道	雲の柱 15 卷 (5 号)	雲の柱社	昭和 11 年 5 月	
63	ローエル、ピケリング両 博士の思い出	天界 18 卷 (270 号)	東亜天文学会	昭和 13 年 6 月	
64	Kyoto Imperial Universsity YMCA 40th Anniversary 同訳文 京 都帝大キリスト教青年会 四十周年に際して	京都帝国大学基督 教青年会四十周年 記念誌	京都帝国大学基 督教青年会	昭和 16 年 12 月 10 日	
65	関西学院加藤院長宛書簡 (北原裕士訳 1957 年 3 月 26 年)	『ヴォーリズの建築 を訪ねて スケッ チの旅』	特定非営利活動 法人 ほんまち ラボまちづくり 道場	平成 18 年 1 月 1 日	
66	図書館の効用	兄弟社図書館通信 (6 号)	近江兄弟社図書館	昭和 21 年 12 月	
67	年頭所感 国民経済の問題	湖畔文化 (19 号)	近江兄弟社図書館	昭和 23 年 1 月	
68	近江兄弟社の根本主義	湖畔文化 (20 号)	近江兄弟社図書館	昭和 23 年 2 月	(「湖畔の声」昭和 35 年 3 月に再掲)
69	詩 (Little I thought)	THE AUTOBIOGRAPHY OF ASA-KO HIROOKA	不明	不明	
70	IN MEMORIAM.	THE AUTOBIOGRAPHY OF ASA-KO HIROOKA	不明	不明	
※ 70、71：無刊記ゆえ便宜的にここに配した。					
71	アメリカの新しい学校建築 について	建築と社会	日本建築協会	昭和 25 年 10 月	
72	日本での最初のクリスマス	ニューエイジ 5 卷 (12 号)	毎日新聞社	昭和 28 年 12 月	
73	Memories of "Hassho" in 1905-1907	八商復刊号	近江尚商会	昭和 31 年 11 月	
74	村田幸一郎さんを憶う	八商第 2 号	近江尚商会	昭和 32 年 12 月	